今年の町家巡遊は、外国から金沢に移住した方などで、金澤町家に住んでいる方や活用されている方の建物を拝見し、お話を伺います。
お邪魔したところ、みなさん予想以上に町家暮らしを満喫されていました。真似したくなる工夫やアイデアもたくさん。ぜひご覧あれ！

## 10/19（土）石引エリア ISHIBIKI TOUR & TALK

**❶ 9:30-10:30「謝さんと石引さんぽ」**
台湾の台南で8棟の宿を営み、2020年には石引に宿を開業予定の謝文侃さんと、
工事中の物件を見学し、謝さんの視点で石引を歩きます。500円（お土産付き）※要予約

**❷ 11:00-12:30 謝さんトーク「金沢の町家と台南の老屋」**
会場：石引パブリック 1,000円（ドリンク付き）※要予約

★ご予約 RESERVATION 10/1（火）10:00～
kanazawa-machiya@nifty.com／076-254-0647（10:00-17:00／土日祝休）

**謝文侃 シエウェンカン**
小五（シャオウー）こと謝文侃は、生粋の台南人です。海外留学から戻った後、台南の古い家屋が日に日に失われていると感じ、仲間と共に「老房子倶楽部（古民家倶楽部）」をつくりました。さらに、築40年の自宅を改築し、（今では台湾で最も有名な宿の一つとなった）「謝宅」をつくり、古民家を活性化する可能性を探求しています。かつて台南は、旅の途中の乗換点に過ぎず、長い間、もっと多くの人々に台南愛を伝えたい、そしてそれを具体的な形にしたいと思っていました。いま、「謝宅」という場で、「一晩でも多く台南に泊まってもらえば、もっと台南を好きになってもらえる」と信じて、台南ライフをみなと分かち合っています。

## 10/20（日）笠市町エリア KASAICHI-machi OPEN HOUSE & TALK

**❶ 10:00-14:00 フアン邸見学**
**❷ 10:00-14:00 紙谷漁網店現場見学**
飲食・宿泊・花屋がシェアする予定の大型町家、
工事中の現場を見学できます。

**❸ 13:00-16:00 まちの踊り場見学**（瓢箪町7-6）
貸切宿として生まれ変わった徳田秋聲ゆかりの町家を公開。

**❹ 14:00-15:00 フアンさんトーク「金沢の庭園」**
会場：まちの踊り場（瓢箪町7-6）
参加費 1,000円（先着20名に書籍プレゼント）※予約可

❹先着20名に
書籍プレゼント
『金沢の庭園が
つなぐ人と自然』

◉笠市郵便局前で公開場所をご案内します。

**フアン・パストール・イヴァールス Juan Pastor-Ivars**
スペイン・デニア生まれ。2004年ヴァレンシア工科大学で建築設計修士を取得。2009年に来日し、京都工芸繊維大学で建築設計修士を取得。2015年ヴァレンシア工科大学で建築設計博士（日本庭園）を取得する。「間と奥、七代目小川治兵衛と近代日本庭園」と題した博士論文を執筆。国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット研究員として、2016年より金沢在住。浅野川にほど近い金澤町家で、地域のコミュニティと深く関わりながら、町家暮らしを楽しむ。

## 10/22（火祝）兼六元町エリア KENROKUMOTO-machi OPEN HOUSE & TALK

**❶ 10:00-15:00 ディキシット邸見学**
**❷ 10:00-16:00 吉田邸見学**
ディキシット邸から歩いてすぐ、若い家族が住む素敵な町家を見学できます。

**❸ 15:00-16:00 ディキシット夫妻トーク「金澤町家での生活」**
会場：ディキシット邸 聞き手：金澤町家研究会 参加費500円（瓦マスキングテープ付き）

◉中央消防署味噌蔵出張所付近で公開場所をご案内します。

**ディキシット夫妻 Mr.＆Ms.Dixit**
夫はネパール出身、妻は東京都出身。2010年頃に金沢を訪れた際に、町家の残る町並みを見て移住を希望。NPO法人金澤町家研究会「金澤町家流通コーディネート事業」を利用し、2015年に金沢市内で昭和初期建築の近代和風住宅の町家を購入。2017年に20年以上過ごしたシンガポールから金沢へ移住した。部屋の配置用途変更や塀の撤去などにより、座敷の庭が日常の中心となっている。近隣への開放性も兼ね備えた二つの庭をもつ、庭を楽しむ町家。

# Traditional Kanazawa Townhouses Tour

ユーは何しに
金澤町家へ？

## What brings you to Kanazawa Machiya?

## 10.19 Sat. 20 Sun. 22 Tue.

## ご注意 NOTICE

会場やご近所の方へのお心づかいをお願いいたします。

写真撮影は
ご遠慮くださいね。

柱・壁・建具・家具などに
ふれないでください。

戸は勝手に開けないで。

敷居や畳縁を
踏まないでください。

裸足NG！雨の日はタオルや
替えの靴下を。

**"Kanazawa Machiya"** is used as an inclusive term in order to call the traditional timber-framed buildings built by 1950 in Kanazawa City, which includes samurai houses, townhouses, and modernized Japanese houses. Although their types are diverse every building has attractive traditional craftworks adapted to the local climate and culture. Around 6,000 buildings have still remained in Kanazawa City and more than 100 ones are destroyed every year.

## こっそりジロジロたのしい町家

一見洋風で新しい
隠れ町家を探そう！

細部に目を凝らそう。
縁起物モチーフ多し。

昔の畳の芯材は藁。
藁床の畳はふかふか！

### 金澤町家とは

昭和25年以前に建てられた木造住宅の総称。武家・足軽屋敷、町家、近代和風、洋館等、建築様式は多様ですが、風土文化に応じた職人技が随所に見られます。金沢市内に約6000軒ありますが、年間約100軒が壊されています。

### 金澤町家研究会とは

建築家・技術者・大学教員・町家の住まい手らの集まりで、金澤町家の活用・再生・継承を目的に、必要な調査研究、普及啓発、実践活動などを、行政と連携しながら取り組んでいます。2008年より毎秋に開催している「町家巡遊」は、金澤町家を巡り、建物見学・展示・レクチャー・体験・飲食などを気軽に楽しみながら、町家の魅力を体感できるイベントです。

金澤町家巡遊2019
代表：坂本英之　スタッフ：橋本浩司　古村尚子　栗田均　北出健展　奥村久美子　細野美希
構成：岩本歩弓　デザイン：田中聡美　題字：フアン・パストール・イヴァールス

**金澤町家研究会事務局** ☎076-254-0647
〒920-0854 石川県金沢市安江町4-20 FAX：076-254-0657
kanazawa-machiya@nifty.com URL：kanazawa-machiya.net

# フアンさんの町家暮らし

京都に6年、東京に8ヶ月住んだのち、
金沢には2016年7月に住みはじめて4年目。

3月と6月には
うぐいすが鳴きます。

仕事が落ち着いたら、
庭作りしたいです。

床の間の上部に
スピーカーが
隠れています。

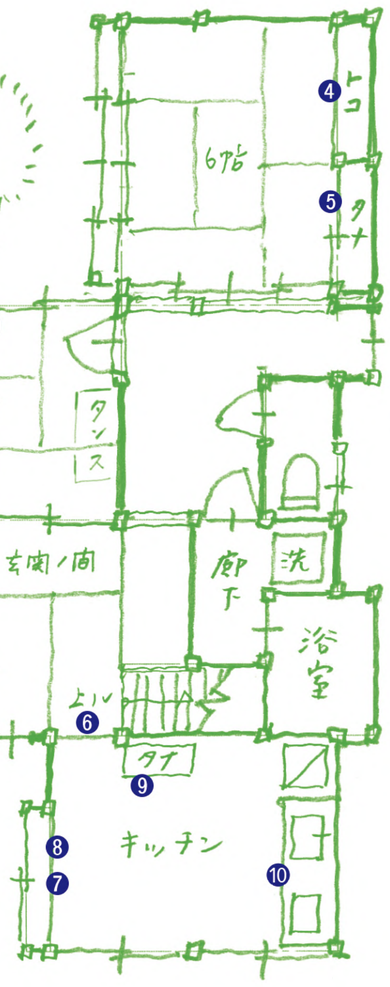
仏間が
クローゼットに！

干し柿乾燥中。

小さくて
かわいいものが
あちこちに。

ディテイルがよくて、
町家は宇宙みたいです。

借りている町家なので、
今あるものをリスペクトして、
賢く使いたいです。




【1階】

夏は1階で寝ます。

京都時代から
山伏の修行をしています。

風が吹いたときの窓の音。
屋根に落ちる雨の音。
町家は音も楽しめます。

棚の上に米びつ。

音楽を聴きながら
コーヒーを飲みます。

町家は、材料が良いから、
家が生きているみたい。

釘隠しは松！
町家には職人の
作ったものがたくさん。

雪見珈琲

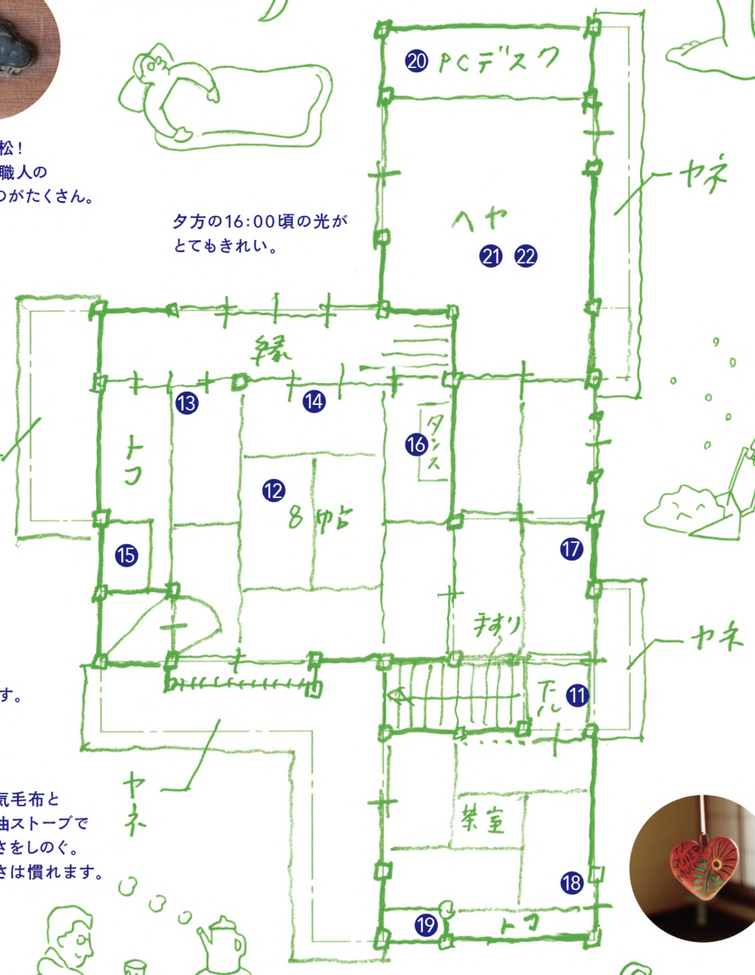
町会長さんが町会に誘ってくれて以来、
濃くてゆたかなご近所づきあいがあります。

時々お隣りのおじいさんと
スーパー銭湯へ行きます。

部屋は年々シンプルに。物や家具が少ない と、
畳や光や影など、町家の美しさを感じられます。

冬は2階で寝ます。

夕方の16:00頃の光が
とてもきれい。




【2階】

足の裏は、畳の
よい素材を感じると
うれしくなります。

運動会や
ボーリング大会にも
積極的に参加します。

もちろん
雪かきや
ゴミ出しも。

趣のある机は京都から。

照明のヒモの先に
ハート。スペイン語で
“I miss you.”と。

❶玄関先の金魚鉢は火鉢。篩（ふるい）をかぶせて猫よけに。❷庭に面した窓には、網戸がわりに網を張った。枠がないので庭がきれいに見えます。❸床の間の掛け軸は小松砂丘画。「おくりいえ」で入手。❹奥の部屋の床の間には法螺貝が。京都時代から山伏の修行をしている。毎年、京都の山伏仲間と能登へ修行に行く。❺全国各地の焼き物コレクション。❻キッチン入口ののれんはスライド式！両手で料理を持って通るときに便利。❼キッチンの窓辺には趣味のコーヒー道具がずらり。❽「おくりいえ」でもらった棚。上段は大樋焼、下段は越前焼。❾おなじサイズの瓶が棚板を支えるという画期的なアイデア！ ❿料理好きのフアンさん。シンクが低くて大変そう。⓫階段を上がると足元の地窓から風が抜ける。⓬「この部屋は夕方の光が一番きれいです」とフアンさん。⓭美しい座敷の建具。⓮夏は一階で冬は二階で寝る。横になるとガラス戸越しに月が見える。⓯山牛蒡味噌の伝統パッケージを吊るす。⓰桐箪笥の上にディスプレイを置いて映画を観ることも。⓱友人が作ってくれたミニチュア 枯山水。⓲茶室の丸窓。⓳床の間横の下地窓には矢羽根が。⓴洋間の押入れの棚板が机がわりのPC台に。㉑日本庭園の研究をしているフアンさん。むずかしそうな本がどっさり！㉒年賀状の下絵。俳句を一句書き添えて。色を塗る前に何十回も描き直す。「今年は忙しすぎて描けませんでした…」。